

# 佐嘉神社の 御祭神は？



佐嘉神社は10代鍋島直正公なおまさと11代鍋島直大公なおひろを御祭神としています。

現

在でも佐賀市内外から多くの人を訪れる佐嘉神社は、鍋島直正公なおまさを祀る神社として創建されました。

昭和5年(1930)に造営に着手し、上棟式じょうとうしきの餅投げもちには多くの市民が集って盛り上がりを見せていた様子が写真から分かります。そして昭和8年(1933)9月23日に遷座祭せんざさいが催行され、直正公なおまさの御霊代みたましろが松原神社から佐嘉神社へ御遷座されました。

佐嘉神社は、国家的功績のあった人物を祀る別格官幣社べっかくかんべいしゃという社格でした。10月12日には列格奉告祭れっかくほうこくさいが催行され、翌日から3日間一般祭典が開催されました。市内では武道大会や花火大会、展覧会、市内小学生徒による組体操など様々なものが催され、大いに賑わいました。

令和5年(2023)、御創建90年を迎える佐嘉神社は、今も市民の憩いと祈りの場であり続け、直正公なおまさとのちに合祀ごうしされた直大公なおひろは、変わらず松原の地から佐賀のまちを見守り続けています。



上棟式「投銭投餅ノ儀」の様子



佐嘉神社正門前の雑踏



創建当初の佐嘉神社  
いずれも「佐嘉神社記念寫眞帖」より